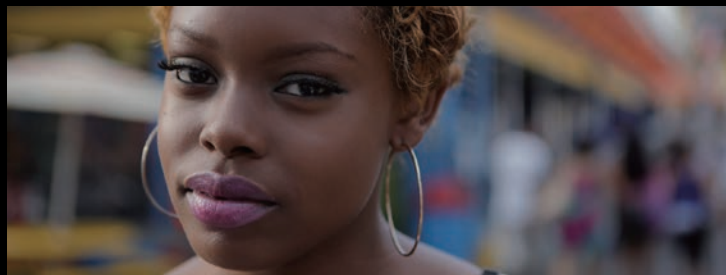


過酷な現実を生きる女の子たち。それでも彼女たちは前を向く。

[プラン・ジャパン映画上映会]



i am a girl



2015.6.19 Fri. 19:00~21:00

■ 日比谷図書文化館 ■ 参加費無料 ■ 要申し込み

世界の女の子に、生きていく力を。



Because I am a Girl

i am a girl



過酷な現実を生きる女の子たち。
それでも彼女たちは前を向く。

監督レベッカ・バリー / 制作TESTIFY MEDIA / 2013年 / 88分 / 日本語字幕制作プラン・ジャパン

数々の賞に輝く、オーストラリアの監督レベッカ・バリーによるドキュメンタリー映画。

6カ国6人の女の子の日常を切り取りとります。カンボジア、カメルーン、アフガニスタン、アメリカ、パプアニューギニア、オーストラリア、それぞれの環境や文化の中で”大人の女性”に成長していく女の子たち。彼女たちの、困難に立ち向かう力と勇気溢れる姿が胸を打ちます。

(対象:高校生以上をおすすめします)



Habiba アビバ (17歳、カメルーン)

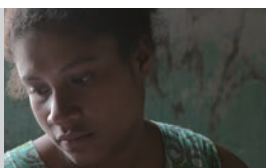
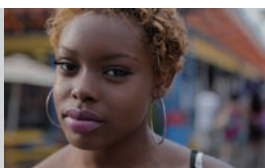
アビバは、家族の意見や地域の慣習を受けて、学校を中途退学し、年の離れた39歳の男性と結婚することを決めました。アビバの心は希望と不安で揺れ動きまわります。

Katie ケイティ (17歳、オーストラリア)

ケイティは恵まれた女の子。しかし、毎日憂鬱と不安につきまといまわっています。ケイティと家族は、競争社会における成功と失敗の重圧に向き合っています。

Kimsey キムシー (14歳、カンボジア)

キムシーは夜、男たちに体を売り、朝、スラム街にある家へ戻ります。キムシーの生後1カ月の赤ちゃんと病気の母親にとって、14歳の彼女が唯一の稼ぎ手なのです。



Breani ブリアーニ (16歳、アメリカ)

ブリアーニが暮らすのは薬物や暴力、ギャングがはびこる場所。それらに溺れないというブリアーニの決意を支えるのは、ミュージシャンになる夢。

Manu マヌ (19歳、パプアニューギニア)

マヌは初めての出産を迎えようとしています。パプアニューギニアにおいて、マヌの年頃での出産は母親の死亡率が高く、産後の後遺症も心配です。

Ajiza アジザ (17歳、アフガニスタン)

アジザの家庭は貧しく、早朝、家の手伝いをしてから学校に行き、帰宅後も手伝いに追われる毎日。しかしどんなに疲れても、アジザは学ぶことをあきらめません。

公益財団法人プラン・ジャパン www.plan-japan.org

プラン・ジャパンは国連に公認・登録された国際NGOプランの一角。アジア・アフリカ・中南米の51カ国で、学校建設、予防接種、職業訓練など、子どもたちの能力と可能性を育む地域開発活動を行っています。Because I am a Girlは、国際NGOプランが展開するグローバルキャンペーン。女性であるために様々な困難に直面する途上国の女の子たちの問題を訴え、彼女たちが「生きていく力」を身に付け、途上国の貧困が軽減されることを目指します。

世界の女の子に、生きていく力を。



日 時 2015年6月19日(金)19:00~21:00 (開場18:40)
場 所 日比谷図書文化館 大ホール
東京都千代田区日比谷公園1番4号
東京メロ 「霞ヶ関駅」C3・B2出口 徒歩5分
都営三田線 「内幸町駅」A7出口 徒歩3分
東京メロ 「日比谷駅」A14出口 徒歩7分
定 員 200名
(参加費無料、申込み先着順。できるだけ事前にお申し込ください)
申 込 み 「I AM A GIRL」お申込みフォームから (受付は前日17:00まで)
https://www.plan-japan.org/form/eventform_plan/
問 い 合 せ メール : event@plan-japan.org
T E L : 03-5481-0030(平日9:00-17:30)
主 催 <http://www.plan-japan.org/girl>
公益財団法人プラン・ジャパン

